

# 道徳だより

本校では今年度「希望と勇気、努力と強い意志」「伝統と文化の尊重、郷土を愛する態度」を中心に道徳教育を推進していきます。学校の教育活動の全てを通して行われるのが道徳教育です。毎週1時間行われる「道徳の時間」では子どもたちが日々の生活の中で体験したことを自分とのかかわりの中で深めていきます。この道徳便りでは、道徳の時間などの子どもたちの様子をお伝えしていきます。

ご家庭でも保護者の方々と子どもたちが一緒に考えたり話し合ったりして、子どもたちの豊かな心の成長に役立てていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

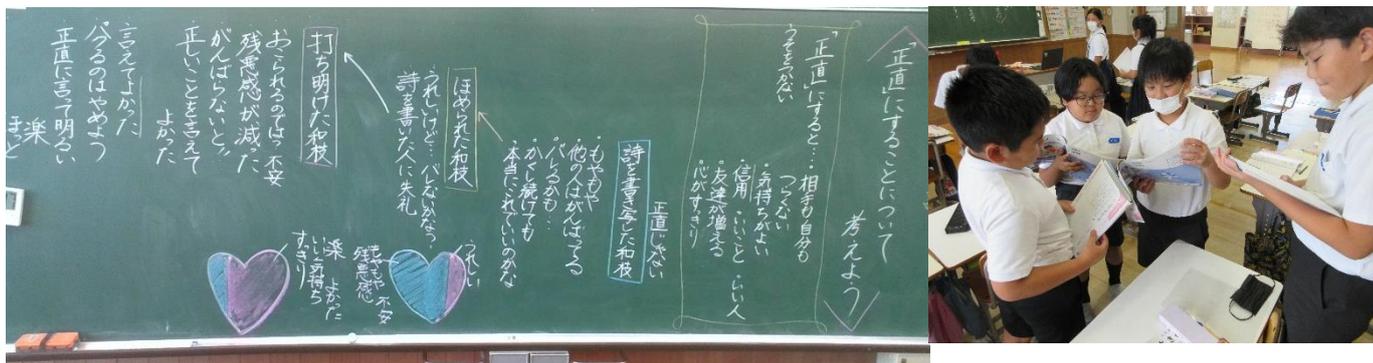
## 道徳の時間の様子 5年生

### 「のりづけされた詩」 正直、誠実

うそやごまかしをしている自分を許せないと感じる自分が自分自身に対する誠実さであることを理解し、正直に明るい心で生活しようとする心情を育てることをねらいとして学習をしました。

学級文集に詩を載せることになった和枝は、本からぴったりのフレーズを見つけ、それをそのまま書き提出してしまいましたが、思い直し最後には先生に本を書き写してしまったことを打ち明けます。和枝の気持ちに焦点を当てて、みんなで考えを深めていきました。

「本を書き写してしまったときの和枝の気持ちは？」と考える場面では、「モヤモヤする。他の人にばれるかも…。本当にこのままでいいのかな。」という考えが出ていました。「自分がしてしまったことを正直に先生に打ち明けることができたときはどんな気持ちになったかな？」と質問すると、「言えて良かった。正直に言えてほっとした。気持ちが楽になった。」という考えが聞かれました。今までに正直に言えなくてモヤモヤした経験があると答えた子どもたちも多く、主人公の和枝の状況に共感しながら気持ちを考え、正直に行動することのよさに気付くことができたようです。



#### 子どもたちのノートや発言より

- 正直に言わないと、後から後悔するから、うそはつかない方がいいなと改めて思いました。
- 私はよく悪いことをしたらだまりこんでしまうけど、他の人の正直に話したエピソードを聞いたら私も正直になろうと思いました。
- 正直に言うといいことがあるとこの学習で分かったので、これからはあまりうそをつかないようにしようと思いました。
- 私はうそをついたことがあって、その時にごまかしてしまったので、自分のためにも周りの人のためにも、これからは正直に行動してしていきたいと思いました。